



3月といえば、何のイメージを思い浮かべますか？



春は暖かな陽気とともに「新しい始まり」や「お出かけ」の関心が高まる季節です。2026年特有のトピックスは「物価高」や「自分の健康」が高いキーワードになっています。これらの要素が組み合わさり、それぞれの立場で春の訪れを感じながらアクティブで新しい体験を求めています。気温のアップダウンにも耐えて体調を整えられた方々、花粉症や黄砂のムズムズも我慢せずに治療に取り組んだ方々、長いインフルエンザの期間も頑張って乗り越えられた方々、以前に比べると多少短くなった春を思いっきり楽しんでくださいね！

春先に多い小児感染症

- 流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）
- 溶連菌感染症：3月下旬に増える傾向
- ウイルス性胃腸炎（ノロ・ロタウイルス）：春先も発生
- 感染性紅斑（りんご病）
- インフルエンザ：12月～3月がピーク
- RSウイルス感染症：春先から増加傾向
- マイコプラズマ肺炎
- 百日咳
- ヒトメタニューモウイルス：年間通じて流行しますが、特に3月～6月の春に多くなる傾向があります

3月の対策・注意

- 大人も注意** 麻疹や風疹は大人になってからの発症も報告されており症状が重くなる傾向がある。
- 免疫力低下** 寒暖差や花粉症で免疫力が落ちやすいためしっかりとした体調管理が重要。
- 予防行動** 手洗いうがい・人混みでのマスク着用・換気を徹底する。

予防接種のお知らせ

<2回目MRワクチン>

令和8年3月31日が最終無料日の予防注射です。ご確認ください。



対象者 小学校就学前の1年間
(今年) 令和8年4月に小学校に入学するお子様



<子宮頸がんワクチン>

子宮頸がんの原因となるヒトパピローマウイルス（HPV）の感染を防ぐ予防接種です。HPVワクチンは、その種類や接種時の年齢により、2回もしくは3回の接種が必要です。標準的なスケジュールでは6か月で接種完了となります。

以下に該当する方は・・・

2026年3月31日まで公費で残りの接種を完了できるよう経過措置が設けられています。

今年度17歳～28歳になる方(1997年4月2日～2009年4月1日生まれ) かつ
2022年4月1日～2025年3月31日までに1回以上接種している方



● 予防接種を接種する際は必ず、母子手帳と記入済みの問診票をご持参のうえ、お子様とご来院ください。
● 母子手帳をお忘れの方は接種できませんのでご注意ください。



予防接種専用外来(予防接種のみの方の時間帯になります)

- 月曜日・火曜日・木曜日・金曜日
- 14時～15時

午前11時まで・午後17時まで
土曜日は12時までにご来院ください。

打ち忘れがないかどうか今一度、母子手帳で確認してみてください！
なにかわからないことなどありましたら、お気軽にご相談ください！

「3月の代診のお知らせ」

11日と25日の水曜日、17日の火曜日の午後は畠添先生の診察になります。診断書の記入や体重チェック、臍ヘルニアの診察の方は院長先生の診察日に来院していただくようお願いいたします。
〔診療時間〕月曜・火曜・木曜・金曜：9時～12時、14時～18時（17時30分受付終了） 予防接種専門外来：14時～15時

水曜：9時～12時、土曜：9時～13時
健康診断（4か月・10か月）：月曜・火曜・水曜・木曜・金曜（予約制）

